

医労連共済 加入拡大・推進ニュース 第29期

2017年12月19日発行 / 日本医労連共済事業局

No.15

「生活賃金シュミレーション」で最賃・生計費原則を認識し… 「医労連共済」では組合だからこそ“助け合い・支え合い”を学びました!

新組合員集会 (山形)



山形県医労連は、「第38回新組合員集会」(12/2・3)を開催しました。12組織から170人の参加でした。医労連・保科書記から「生活賃金シュミレーション」のすすめ方を聴きながら、15班に分かれた各班で検討していきました。それぞれが自分たちが考える1ヶ月の最低必要額を考えました。分類は、「食費」「保健医療」「交通・通信」「家具・家事用品」「被服・履物」「理美容品」です。最後に各分類の合計を集計し、全国各地で

果と比較し、「最賃は地域間での誤差はあまりないこと」「生計費原則の有り方」を学びました。共済の話では、これからの人生いろいろの中で、何かあったときの安心を「共済」がサポートしていること、共済は“組合だからこそ助け合い”であることを聴き、共済も労働組合の大切な運動であることを認識しました。



医療・介護分野での社会的な力関係を変えるため

大いなる展望をもって仲間増やしを精力的に取り組もう!

東海北陸地方協議会・2018春闘討論集会&組織拡大強化・共済推進交流集会

「利益還元」と「仲間の助け合い」である共済は“全員加入が当たり前”で奮闘しています!

東海北陸地方協は、「2018春闘討論集会&組織拡大強化・共済推進交流集会」を石川県内で開催しました(12/9・10)。6県医労連34組織から60人が参加しました。

記念講演として、中澤秀一さん(静岡県立短期大学社会福祉学科准教授)から「最低賃金の課題と運動について」の講義を受けました。18春闘方針は、医労連・中野副委員長から方針提起を受け、3つの分科会で運動の具体化を深めました。

2日目は、「共済29期方針」「自動車共済」の話のあとに、3人の方から特別報告があり、その一つで、「全医労豊橋支部の取り組み」が紹介されました。①毎月の拡大目標は2人、②連続拡大93ヶ月継続中、③組合加入と共済加入は車の両輪。さまざまなキャンペーンを駆使し、「利益還元」と「仲間の助け合い」である共済は“全員加入が当たり前”をめざして、組織一律加入はその一つと報告されました。そのあとに、「共済制度」「共済経験交流」を含む4つの分科会で組織拡大・強化の取り組みを討論しました。

「5万人共済達成」で“20万医労連早期実現”めざして挑みましょう!